




ドーマーの入力方法③（ドーマーの壁部を設定）


文書管理番号：1254-01

Q. 質問

3D パースでドーマーを表現したい。

A. 回答

3D パースでドーマーを表現するには、 (屋根伏図) で  (屋根面) を入力する方法と、 (屋根部品) を配置する方法があります。

ここでは、 (屋根伏図) で  (屋根面) を入力する方法を説明します。





* ここでのドーマーの入力方法は、外観表現を目的としています。

屋根部品を利用して表現する方法については、こちらをご覧ください。

[\[1243\] ドーマーの入力方法（部品を利用して表現する場合）](#)

操作手順

 (屋根伏図)で  (屋根面)を入力し、ドーマーを配置する方法は、次のような手順になります。

- (1) プラン図でドーマーの窓部を配置する
- (2) 屋根伏図でドーマーの屋根部を配置する
- (3) 屋根伏図でドーマーの壁部を設定する

ここでは、上記「(3) 屋根伏図でドーマーの壁部を設定する」方法を説明します。

上記「(1) プラン図でドーマーの窓部を配置する」方法は、こちらをご覧ください。

[\[1252\] ドーマーの入力方法① \(ドーマーの窓部を配置\)](#)

上記「(2) 屋根伏図でドーマーの屋根部を配置する」方法は、こちらをご覧ください。

[\[1253\] ドーマーの入力方法② \(ドーマーの屋根部を配置\)](#)

上記「(1) プラン図でドーマーの窓部を配置する」「(2) 屋根伏図でドーマーの屋根部を配置する」を行った後の操作から説明します。

ドーマーの壁部を設定する

ドーマーの壁部は、屋根間外壁を利用して設定します。

屋根間外壁は、同一階で異なる高さの屋根が重なって配置されている場合に、その段差部に外壁を生成する機能です。

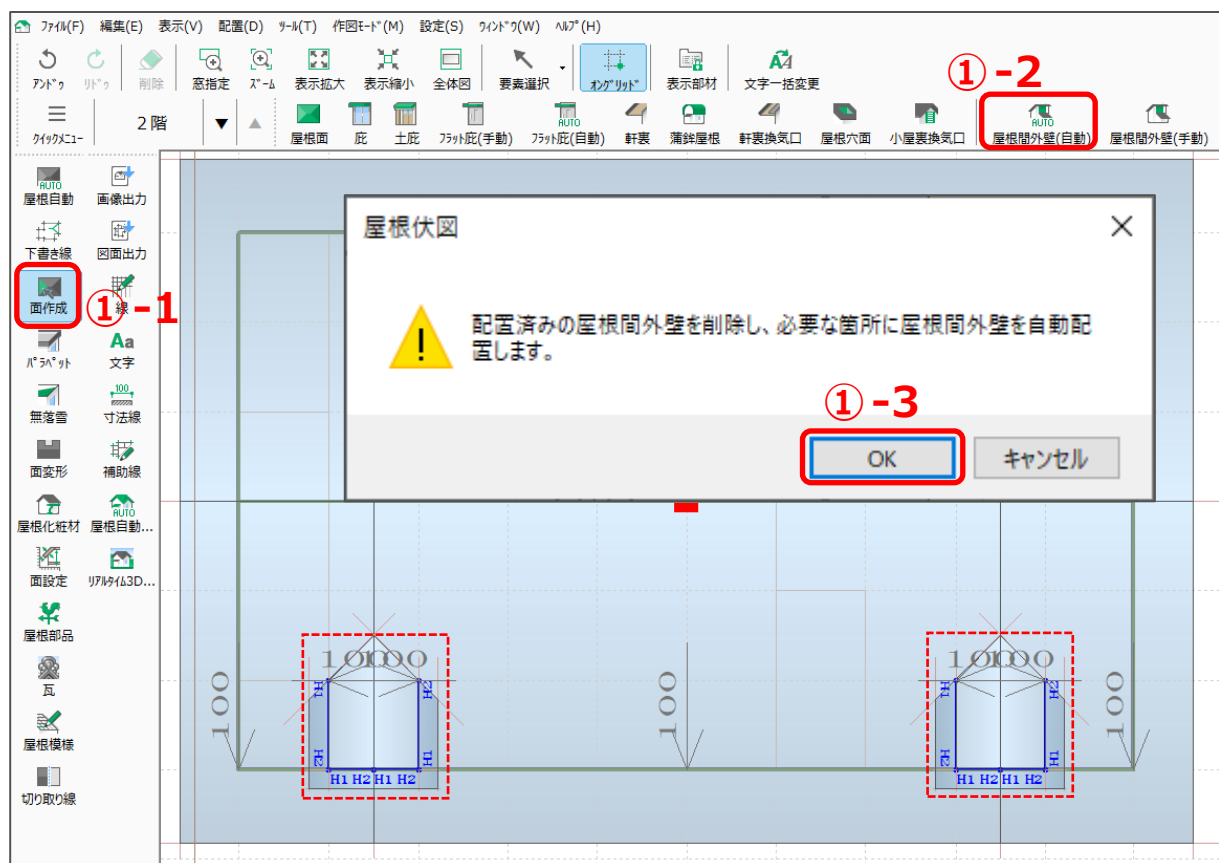
3D パースで屋根の段差部に外壁が自動生成されない場合に、屋根間外壁を設定することで外壁が生成されます。

屋根間外壁の詳細については、下記のFAQ または A's（エース）のマニュアルをご確認ください。

[\[1255\] 屋根間外壁の入力方法](#)

ドーマーで屋根間外壁を設定する場合は、屋根厚を考慮して配置する必要があります。

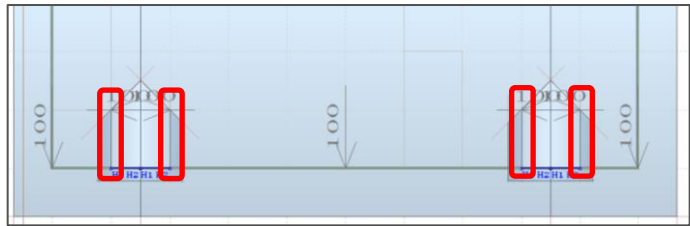
- ① (面作成)の (屋根間外壁(自動))をクリックし、メッセージが表示されたら「OK」をクリック



* 屋根間外壁（青線）が配置されます。

- ② (要素選択)をクリックし、ドーマー側面の屋根間外壁を選択後、 (削除)をクリック

* 屋根間外壁（青線）が削除されます。



* ここでは、ドーマー側面の「屋根間外壁」を4か所削除します。

【参考】

屋根間外壁を切妻と接する位置まで入力すると、屋根厚分食い込みすぎてしまうため、壁が屋根上に少し飛び出してしまう。

屋根間外壁をドーマーの屋根部より下に留めておく必要があるため、一旦削除します。

- ③ ドーマーの屋根面をクリックし、右クリックメニューの「屋根高さ変更」をクリック

* 面設定の画面が表示されます。



④ 屋根厚の「B:野地板厚」「C:他下地厚合計」「D:垂木高さ」の合計を確認

* ここでは、「B:12mm」「C:0mm」「D:60mm」で、合計「72mm」となります。

面設定

GL基準 mm

軒基準 mm

勾配 /100

追加(A)... 変更(C)... 削除(D)

屋根属性 軒先厚 mm

屋根厚 (A+B+C+D) mm

A:仕上厚 mm

B:野地板厚 mm

C:他下地厚合計 mm

詳細設定(S)...

D:垂木高さ mm

大屋根

* 合計を確認したら、「キャンセル」をクリックして面設定画面を閉じます。

⑤ (補助線)をクリック

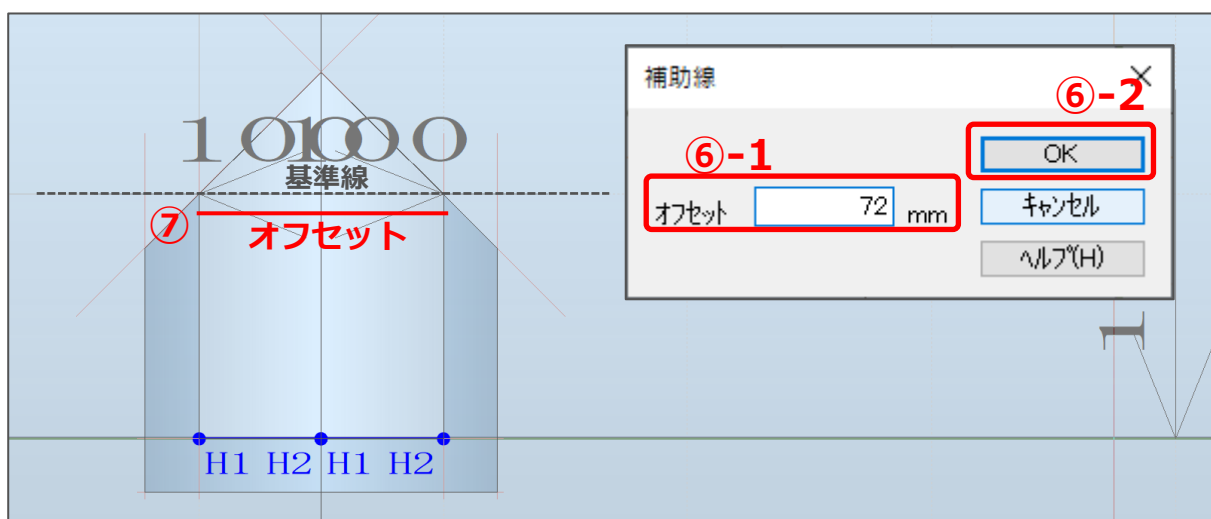
* 補助線のオフセット値を設定する画面が表示されます。

⑥ オフセットに、操作④で計算した合計値を入力し、「OK」をクリック

* ここでは、「72」mm オフセットした下書き線を入力します。

- ⑦ ドーマーと片流れ屋根が接する交点を基準線とし、外向きにオフセット配置

* 基準線から 72mm オフセットした位置に、補助線が入力されます。



【参考】

補助線のオフセット値は、屋根厚の「野地板厚+他下地厚合計+垂木高さ」の合計を基準としますが、屋根の勾配等によっては、屋根厚以上のオフセット値になります。

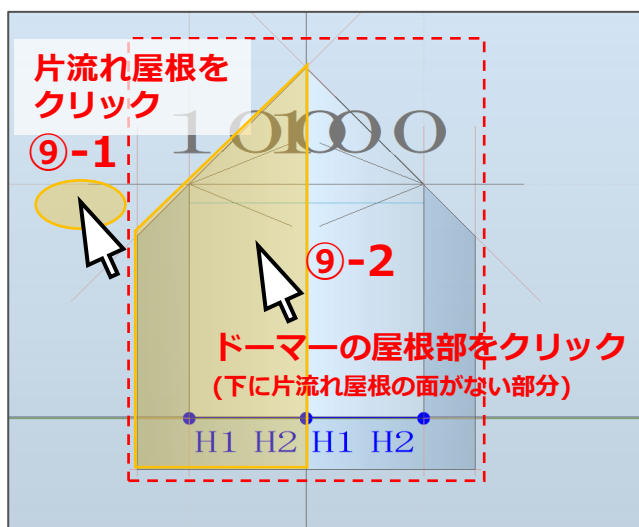
3D パース等で確認しながら、調整してください。

- ⑧  (面作成)の  (屋根間外壁(手動))をクリック

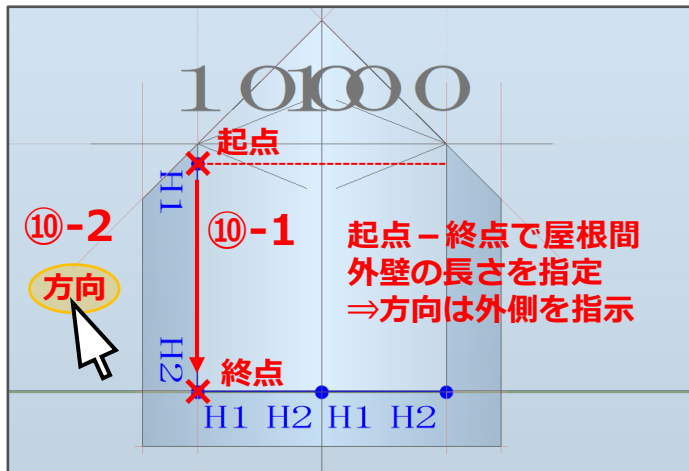
- ⑨ 片流れの屋根をクリックし、ドーマーの屋根部をクリック

* ドーマーの屋根部を先に、片流れの屋根を後からクリックしてもかまいません。

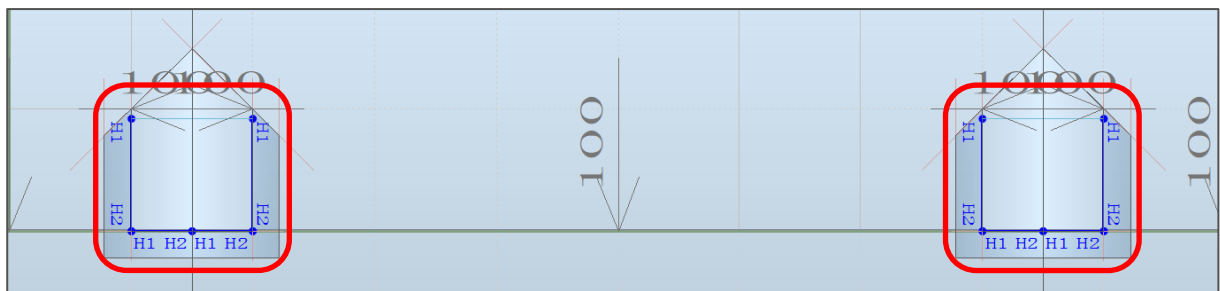
* ドーマーの屋根部をクリックする際は、片流れ屋根と重ならない部分をクリックしてください。



- ⑩ P.6 操作⑦で配置した補助線とドーマー側面の壁芯との交点を起点、ドーマー前面の壁部とドーマー側面の壁芯との交点を終点とし、外側をクリック
- * 指示した屋根と屋根の間に外壁を生成します。



- ⑪ 同様に、反対側および、もう1つのドーマーにも屋根間外壁を配置
- * 屋根間外壁（青線）が配置されます。



- ⑫ (3D パース)で確認



【参考】

壁の厚みやドーマーの位置により、3D パースで不要な面が表示される場合があります。
不要な面が表示される場合は、面分割や非表示などで調整してください。